公益財団法人京都ＹＭＣＡ

2025 年度事業報告

2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

公益財団法人京都YMCA

〒６０４－８０８３　京都市中京区三条通柳馬場東入中之町２番地

2025年度事業報告内容

１，2025年度事業計画

２，2025年度公益目的事業の実施状況

３，運営体制の充実を図るための取組

４，月別事業別行事報告

５，理事会・評議員会・常置委員会開催日程

６，関係団体及び対外協力

７，役員及び職員

８、2025年度統計資料

1，2025年度事業計画

2025年度事業計画

2025年度年間聖句

これらのことを話したのは、あなたがたが私によって平和を得るためである。あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている

新約聖書　ヨハネによる福音書16章33節

2025年度事業計画

自然体験や、スポーツ活動、文化活動を通して、プログラムに参加する一人ひとりの全人格的な成長を促し、健やかな心と体を育みながらたくましく成長をはかる活動を展開する。プログラムを通していのちを守ることの大切さを学ぶとともに、生涯にわたって生き生きとした人生を歩み、社会の一員として貢献できるように指導する。

① 既存ウエルネスプログラムの質的向上と参加の利便性を高め、参加者の拡大
② Well-being向上のためのプログラム開発と、機会の拡大
③ ステークホルダーの共感が得らえる公益性と独自性のアピール強化による、参加者の拡大
④ ＹＭＣＡステークホルダーの協力による、若者人材の育成と事業の拡大

こどもから大人まで全ての人がボランティアを通して地域社会ならびに国際社会に貢献することができるように、ボランティアを育成し、ボランティアの手による地域社会および国際社会への貢献事業を進める。

① 公益事業を担う会員を増強し地域課題に取り組む
② YMCAの公益性を積極的に広報し公益活動を支える寄付金を拡大する
③ 他団体と協働することで公益活動の規模と可能性を拡げる

乳幼児の成長過程において必要な情緒的、身体的、知的体験教育を、保育事業を通じて統合的に推進するとともに、共に支え合う地域社会の実現を展望しつつ、子育てボランティアの育成なども含む広範な子育て支援事業を展開することで、乳幼児期のこどもたちの健全な成長及び発達を促す。

① 少子化の時代に地域から選ばれる保育園となる
② 地域の子育て支援事業として根づかせていく
③ 保育園の安定的運営を計る

2，2025年度公益目的事業の実施状況

2025年度を振り返って

2025年度は、3か年の「京都YMCA中期計画2024（2024～2026年度）」の中間年度となりました。本中期計画では「他団体や組織とのつながりを再構築し、協力関係の中で事業を開発・拡大していくこと」を大きなテーマに掲げています。今年度は、その目標達成に向けて、他団体とのつながりの中で新たなチャレンジを進める年となりました。障がいのある子どもたちのための「インターナショナル・チャリティーラン」は、実施時期を再び5月に戻し、会場を嵐山東公園へと変更したほか、競技種目も大きく見直して実施いたしました。また、夏期キャンプやスキープログラムについても、実施方法の見直しを図るなどの改革を進めています。さらに、コロナ禍等の影響で低調になっていた海外のブラザーYMCAとの交流において、国際協力委員会のメンバーと中堅スタッフが仁川YMCAを訪問し、今後の新たな交流について協議する機会を持ちました。これにより、再び新たな交流が始まろうとしています。また、2026年に開設60周年を迎えるリトリートセンターを記念した事業のための募金活動、および記念事業に向けた準備がスタートしました。

以下に、それぞれの事業について報告いたします。

〔公1　こどもから大人までの健全な心身の発達を促進するウエルネス事業〕

前年度は各プログラムにおいて参加者の増加がみられましたが、今年度は一転して、各プログラムの参加者が前年度より減少する結果となりました。ユーススポーツ事業全体では117名の減少となり、特にスイミングスクールでは前年比約50名減、体操教室では29名減となりました。ただし、この原因は参加希望者自体の減少だけではありません。参加希望者はいても、指導者不足により受け入れができず、キャンセル待ちの状態が続いたことも要因であり、慢性的な指導者不足が課題となっています。

なお、京都YMCAのスイミングスクールの特徴でもある水球プログラムは、年間を通して様々な大会や競技会に参加しました。

毎年6月に行っている「水上安全キャンペーン」は今年度も実施し、近隣の小学校へ「ウォーターセイフティハンドブック」を配布して水の事故をなくす啓発活動を行ったほか、要望に応じて着衣水泳講習等を実施しました。

2014年に始まり、今回で10回目を迎えた「The Y Cup 京都ミニバスケットボール大会」は、第10回の記念大会として盛大に実施されました。京都のプロバスケットボールチーム「京都ハンナリーズ」のユースコーチによるクリニックや、3×3プロチーム「じげんアップデーターズ」の選手によるデモンストレーションなどが披露され、参加した子どもたちにとって貴重な経験となりました。他団体への協力としては、京都府立医科大学の医療関係者の子どもたちを対象とした長期休み期間中の「出張学童保育」、同志社小学校の水泳授業への協力、京都YWCAあじさい保育園の体操プログラムへの指導者派遣を実施しました。

野外活動においては、コロナ禍以降、大学生のボランティアリーダーが集まりにくい状況が続いていることもあり、プログラムの参加者が前年度に比べ大きく減少しています。日常野外活動全体では、前年度の199名から147名へと、約50名の参加者減となりました。

この影響はシーズンプログラムにも及んでおり、夏期キャンプでは前年度の345名から302名（43名減）へ、冬のスキーキャンプでは、指導者体制の変更やディレクターの異動も重なったことで、前年度の239名から185名（54名減）へと減少しました。

一方で、病気の子どもとそのきょうだいのためのキャンプは、多くのボランティアの協力を得て今年度も夏と冬の2回実施し、夏は16名、冬は12名の参加者を迎えて開催することができました。

野外活動では、リーダートレーニングを通じて大学生ボランティアリーダーを養成し、長年にわたり青少年育成を行ってきましたが、近年のリーダー減少により、今後の青少年育成のあり方について再検討が求められています。成人プログラムでは、長年京都市から委託を受けていた「高齢者筋トレ教室」が委託期間満了に伴い終了しました。これにより京都YMCA独自の「高齢者筋トレ教室」のみの開催となったため、参加者数が大きく減少しました。

一方、成人のスイミングプログラムでは、海外からの在留外国人の参加が徐々に増えてきています。

〔公２　ボランティアによる地域社会及び国際社会への貢献活動〕

障がい児支援を目的とした「第18回インターナショナル・チャリティーラン」を開催し、幼児からシニアまで153名が参加しました。80名のボランティアによる運営のもと、世代を超えて交流を楽しみました。子どもの貧困問題へのアプローチとして、経済的格差によって生じる「体験格差」を解消するため、経済的な理由でキャンプなどの課外活動に参加できない家庭の子どもたちを府民からの寄付金で支援する取り組み「夏の思い出を等しく子どもたちへ」キャンペーンを7月から9月にかけて実施しました。このキャンペーンを通じて、8名の子どもたちが夏の海や山のキャンプに参加し、楽しい夏休みの思い出を作ることができました。11月には「国際協力街頭募金」を、プログラムに参加する子どもたちや専門学校の留学生、多くのYMCA会員、ボランティアとともに、市内7か所に分かれて実施しました。ウクライナやパレスチナなどへの支援を呼びかけ、多くの市民の皆様や、京都を訪れていた海外からの観光客の方々からも賛同をいただくことができました。視覚障がいのある方への理解を深める取り組みとして、音訳ボランティアグループ「長岡こおろぎ」の協力のもと、10月の「中京区民ふれあいまつり」での点字体験や、12月の「中京区民ふれあい人権映画鑑賞会」での手引き（誘導）体験を実施しました。毎年2月に実施している、いじめをなくすキャンペーン「ピンクシャツデー」の取り組みとして、今年度もいじめ撲滅を呼びかけるポスターを募集・展示する企画を、京都市教育委員会の後援を得て実施しました。ポスターは、2月22日に開催された「チャリティーバザー」に合わせて館内に展示され、多くの来館者にご覧いただきました。

リトリートセンターでは、今年度も様々な団体やグループが、施設の整備や改善を目的としたボランティア活動を定期的に行いました。さらに 2025 年度は、クマ対策の藪払い、例年はスタッフだけで実施していた落葉かき、そして沢の石垣崩落箇所の改修と木橋の再建という 3 つのワークを、新規または臨時的にボランティアの参画によって実施することができ、新たなボランティアチームの可能性が広がりました。7 月と 3 月には、新たな試みとして日帰りの家族参加型プログラム「アートラボ」を開催しました。美術系大学の教授などの専門リソースとともに企画・実施し、親子で自然の素材を用いて想像力を発揮する創作プログラムを体験しました。また 2 月には、前年度に大雪で中止となった「大焚き火フェスタ」を開催できました。本イベントは春・秋に続く「冬のフェスタ」として育成する方針であり、ボランティア・参加者ともに規模が拡大しつつあります。

〔公３　子育て支援事業としての保育園〕

YMCA 三条保育園および高倉おさなご園では、前年度に引き続き、食物アレルギーや発達に障がいのある子どもたち、また海外にルーツを持ち様々な文化的背景を有する子どもたちを受け入れました。多様なライフスタイルへの対応が求められる中、保育士にはより高度なスキルが必要となっており、他部門との協働や連携の機会も増加しています。地域の子育て支援事業としての役割も大きく、在園児の保護者だけでなく、卒園児や他地域の保護者からも子育てに関する相談に来園される方が増えてきました。

また、学区の児童館との連携も積極的に進めており、同心児童館が京都 YMCA 内で開催した夏祭りには、本園の 5 歳児が「お店屋さんごっこ」として出店しました。この活動は、地域の未就園児とその保護者も巻き込んだ恒例の行事として定着しつつあります。開園当初から継続している「京都 YMCA 国際福祉専門学校」の留学生との異文化交流プログラムも今年度同様に実施され、子どもたちが毎年楽しみにしている取り組みの一つとなっています。

2 月に開催された「京都 YMCA バザー」では、「ストップいじめ」キャンペーンの一環として、子どもたちが制作したポスターを保育園内に展示しました。また、同心児童館の協力のもと、来場した子どもたちのための遊びスペースを提供したほか、食物アレルギーに配慮したお菓子の販売も行いました。今年度は卒園児にも呼びかけ、たくさんの参加がありました。要望の多かったカレーの提供は 50 食が完売し、子どもたちや保護者の方々の同窓会の場として、嬉しい交流の機会となりました。

今年度も地域の中学生や高校生の職場体験実習を受け入れ、京都市立上京中学校、京都市立日吉ケ丘高校、洛陽総合高校、同志社女子高校の生徒が保育実習を体験しました。また、京都市立堀川高校の生徒も来園し、園児との交流を持ちました。さらに、大学の実習として京都女子大学栄養学科の学生による調理実習や、保育士養成学校からの 3 週間の実習を受け入れ、園児や職員にとって良い刺激となりました。

なお、「中京区子ども大会」については、園内でインフルエンザの感染者が多数発生したため、今回は不参加となりました。

今年度も、京都 YMCA リトリートセンターでの野外活動や礼拝、親子遠足をはじめ、

芋ほり体験、京都市動物園、京都水族館、八瀬野外保育センターなどへの園外保育を、各年齢に応じて実施しました。当園がYMCAの強みを活かした活動（リトリートセンター、プール、体操など）を多く取り入れていることは、保護者の園選びの重要のポイントとなっており、入園の動機にもつながっています。保育職員のスキルアップを目的として、保護者対応の振り返りや保育技術向上のための研修も実施しました。前年に続き、外部講師による造形表現の研修や、京都YMCAの事業部スタッフによる救命活動の学習機会も設けました。今年度は職員が「チャリティーラン」「国際募金」「オータムフェスタ」「クリスマスナイト」「バザー」などのYMCA活動に積極的に参加しました。今後もこうした活動を通じて、組織全体のつながりを深めるきっかけ作りを継続していきます。

3，　運営体制の充実を図るための取組

〔公益法人内部における規範整備等〕

- 当法人の使命に即して公益目的事業を適切に実施していく観点から、社会・経済情勢も踏まえ、３か年間の「京都 YMCA 中期計画 2024～2026」を策定し、公益目的事業を計画的に実施しています。
- ハラスメントの未然防止対策として職員研修を強化しまました。
- 会員・受講者などの多くの個人情報を扱う組織として、個人情報保護のためのリスク管理に努めました。

〔法人運営強化の取組〕

- 理事会の下に設置した５つ常置委員会を中心に、毎年度、計画に掲げた事業の実施状況を評価し、その改善を図っています。

事業委員会（公１事業）	2025 年度	５回開催
活動委員会（公２事業）	2025 年度	６回開催
子育て支援事業委員会（公３事業）	2025 年度	５回開催
総務委員会	2025 年度	７回開催
施設計画検討委員会	2025 年度	９回開催

- 常置委員会の内の総務委員会で、財務、人事、経営、法務に精通した人材を委員として選任し、理事会開催にあたって人事・財務に関わる重要な事項について事前に総務委員会の審議を経て提案することとしています。

- 理事や責任職員の執行能力強化のため、全国の YMCA（公益法人）と連携し、法人運営勉強会や研修会へ積極的に参加しています。

  中日本地区 YMCA 役員研修会　２月１４日大阪 YMCA 会館　理事３名参加

  全国 YMCA 総主事会議（4 月、6 月、10 月、2 月）常務理事参加

４，月別事業別行事報告

月	ＹＭＣＡ事業	ＹＭＣＡ活動	子育て支援事業
４月	・アフタースクール春休み遠足 ・府立医科大学春季学童保育 ・春休みデイキャンプ	・リトリートセンター さくらフェスタ ・がん患者さんの会	・入園式「はじめましてこんにちは」 ・イースター礼拝 ・避難訓練 ・誕生日会 ・歯科検診（全園児）
５月	・春のリーダートレーニング ・水球　西日本女子水球競技大会参加	・がん患者さんの会	・避難訓練 ・体操教室 ・スイミング ・礼拝（全園児） ・５歳児クラス懇談会 ・Ｙわいひろば ・誕生日会 ・４歳児遠足。５歳児遠足
	・奉仕活動基金募集 ・第 18 回京都 YMCA インターナショナルチャリティラン開催		
６月	・ベーシックリーダートレーニング理論編 ・ウォーターセイフティキャンペーンいのちを守る水泳講習会 ・スイムフェスティバル開催 ・水球関西ジュニア大会参加 ・競泳京都選手権参加 ・水球全国ジュニアオリンピックカップ京都予選参加	・リトリートセンター ホタルの夕べ ・会員協議会 ・こおろぎ連絡会 ・がん患者さんの会	・礼拝 ・歯科検診、内科検診 ・花の日 ・こどもの日礼拝 ・避難訓練 ・スイミング ・体操教室 ・誕生日会（幼児保護者参観） ・Ｙわいひろば ・救命救急講習 ・異文化交流
	・「夏の思い出を等しくこどもたちに」キャンペーン開始		
７月	・夏期キャンプリーダートレーニング ・夏期キャンプ､サマープログラム ・水球全国ジュニアオリンピックカップ近畿予選参加 ・競泳京都市民総合体育大会参加 ・アフタースクール夏休み遠足	・リトリートセンター 夏期準備ワーク ・リトリートセンター アートラボ ・がん患者さんの会	・礼拝（全園児） ・英語で遊ぼう ・ひかり組リトセン川遊び ・避難訓練 ・水遊び、プール遊び ・体操教室(参観日) ・高校生体験実習受入れ ・誕生日会（幼児保護者参観）

月	ＹＭＣＡ事業	ＹＭＣＡ活動	子育て支援事業
8月	・夏期キャンプ、サマープログラム ・OSAKA OPEN 水泳大会参加 ・スイミングアクアフェスティバル ・水球京都ジュニア選手権参加 ・府立医科大学夏季学童保育 ・青い空と白い雲のキャンプ	・リトリートセンター地元児童招待エンジョイキャンプ ・がん患者さんの会 ・リトリートセンター秋季ワーク	・平和を考える礼拝 ・夏季特別保育 ・避難訓練 ・水遊び、プール遊び ・入園希望者説明会 ・Ｙわいひろば ・誕生日会 ・地域交流夏祭り
9月	・ベーシックリーダートレーニング実技編 ・水球京都選手権参加 ・競泳ジュニアチャレンジスイムミート参加	・リトリートセンター川遊び＆窯焼きピザ！&BBQ！ ・教会合同小学生キャンプ ・国際担当者研修会 ・がん患者さんの会	・礼拝 ・英語で遊ぼう ・避難訓練 ・スイミング ・ひかり組リトセン泥んこ遊び、お泊り会 ・体操教室(保護者参観) ・水遊び、プール遊び ・入園希望者説明会 ・Ｙわいひろば ・誕生日会
10月	・水球 AKB カップ参加	・リトリートセンター森のハロウィン ・がん患者さんの会 ・京都 JOCS コンサート後援	・礼拝（全園児） ・英語で遊ぼう ・子ども祝福礼拝 ・遠足(3・4・5歳児) ・避難訓練 ・スイミング ・体操教室 ・入園説明会 ・Ｙわいひろば ・誕生日会
	・国際協力街頭募金実施（京都市内７か所）		
11月	・後期ベーシックリーダートレーニング理論編 ・スキーリーダートレーニング（理論） ・ＹＭＣＡ水泳交歓会参加 ・水球兵庫県選手権参加	・リトリートセンターオータムフェスタ ・ＹＭＣＡ・ＹＷＣＡ合同祈祷週プログラム ・がん患者さんの会	・中京子ども大会参加 ・英語で遊ぼう ・収穫感謝礼拝 ・収穫感謝野外礼拝（3・4・5歳児） ・避難訓練 ・スイミング ・体操教室 ・2歳児親子遠足 ・アドベント礼拝 ・誕生日会 ・Ｙわいひろば ・異文化交流

月	ＹＭＣＡ事業	ＹＭＣＡ活動	子育て支援事業
12月	・野外クリスマス祝会開催 ・スキーリーダートレーニング（実技） ・スイミングクリスマス会 ・スイミングアクアスイミングフェスティバル ・ウインタープログラム ・府立医科大学冬季学童保育 ・水球和歌山県選手権参加	・国際協力専門委員会による仁川 YMCA 訪問 ・クリスマスキャロルナイト 2025 ・Amazon「みんなでサンタクロース」 ・がん患者さんの会 ・京都いのちの電話チャリティーコンサート後援	・アドベント礼拝 ・避難訓練 ・クリスマス祝会 (ページェント礼拝) ・乳児クリスマス会 ・冬期特別保育 ・誕生日会 ・Ｙわいひろば
1月	・水球京都ジュニア選手権冬季大会出場 ・競泳短水路選手権参加 ・アフタースクール冬休み遠足	・YMCA オリエンテーション講座 ・がん患者さんの会	・礼拝 ・年始特別保育 ・避難訓練 ・スイミング、体操教室 ・実習生受け入れ ・Ｙわいひろば ・誕生日会
2月	・アフタースクール体験説明会 ・スキーキャンプ ・スキーリーダートレーニング実施 ・第 23 回発達障がい児理解セミナー ・青い空と白い雪のキャンプ ・水球全国ジュニアオリンピックカップ近畿予選参加 ・中日本 YMCA 水泳大会参加 ・水球近畿ジュニア選手権参加	・リトリートセンター大焚き火フェスタ ・京都 YMCA バザー ・ストップ！いじめポスター展 ・創立 137 周年記念会員集会 ・がん患者さんの会	・合同礼拝 ・避難訓練 ・京都 YMCA バザー参加 ・スイミング(保護者参観日) ・英語で遊ぼう ・Ｙわいひろば ・誕生日会（ピンクシャツウィーク ・子ども展
	ＹＭＣＡピンクシャツデーキャンペーン		
3月	・ユースリーダー活動感謝会 ・体操春の遠足＠いちご狩り ・スプリングプログラム スイミング､体操、スキー ・スイミングリーダートレーニング ・競泳京都府学年別選手権参加	・第 10 回 The Y cup 京都ミニバスケットボール大会 ・全国車いす駅伝競走大会 ・がん患者さんの会 ・リトリートセンターアートラボ	・礼拝（全園児） ･異文化交流 ・シェイクアウト訓練 ・卒園式 ・みのり組（4 歳）親子遠足 ・大きくなったね参観週間 ・春探し散歩 ・幼児部遠足リトリートセンター（3～5 歳児） ・体操教室(保護者参観日) ・大きくなったねパーティー ・誕生日会

５，理事会・評議員会・常置委員会開催日程

理事会開催日程

第１回理事会	５月３０日
第２回理事会	６月１５日（みなし決議）
第３回理事会	６月１７日
第４回理事会	７月１８日
第５回理事会	９月３０日
第６回理事会	１１月２６日
第７回理事会	１月１７日
第８回理事会	３月２４日

評議員会開催日程

定時評議員会	６月１７日

常置委員会開催日程

ＹＭＣＡ事業委員会

第１回事業委員会	５月２１日
第２回事業委員会	６月１２日
第３回事業委員会	１０月１７日
第４回事業委員会	１２月１７日
第５回事業委員会	２月２７日

ＹＭＣＡ活動委員会

第１回活動委員会	５月２３日
第２回活動委員会	７月３０日
第３回活動委員会	１０月２７日
第４回活動委員会	１２月２２日
第５回活動委員会	２月　９日
第６回活動委員会	３月１７日

子育て支援事業委員会

第１回子育て支援事業委員会	５月１９日
第２回子育て支援事業委員会	９月１８日
第３回子育て支援事業委員会	１１月２１日
第４回子育て支援事業委員会	１月　９日
第５回子育て支援事業委員会	３月１２日

総務委員会

第１回総務委員会	５月２６日
第２回総務委員会	７月１６日
第３回総務委員会	９月２４日
第４回総務委員会	１１月２０日
第５回総務委員会	１月１５日
第６回総務委員会	２月２６日
第７回総務委員会	３月１６日

施設計画検討委員会

第１回施設計画検討委員会	４月２１日
第２回施設計画検討委員会	６月　９日
第３回施設計画検討委員会	７月２９日
第４回施設計画検討委員会	９月１６日
第５回施設計画検討委員会	１０月１４日
第６回施設計画検討委員会	１月１３日
第７回施設計画検討委員会	２月１６日
第８回施設計画検討委員会	１月２０日
第９回施設計画検討委員会	３月２３日

６，関係団体及び対外協力

加盟・協力団体

日本ＹＭＣＡ同盟

〔キリスト教関係〕
ＮＣＣ宗教研究所
京都キリスト教協議会（ＫＣＣ）
（公社）日本キリスト教海外医療協力会
日本キリスト教海外医療協力会（ＪＯＣＳ）
京都ＪＯＣＳ

〔京都府関係〕
（公社）京都府青少年育成協会
京都府災害ボランティアセンター
きょうと地域創成府民会議
京都府北部福祉人材確保・定着戦略会議

〔京都市関係〕
京都市生涯学習市民フォーラム
京都市ごみ減量推進会議
京都はぐくみネットワーク

〔舞鶴市関係〕
舞鶴市未来戦略会議
舞鶴市公共交通ネットワーク会議

〔青少年育成団体関係〕
（特非）京都府レクリエーション協会
京都府キャンプ協会
京都青少年ゆめネットワーク
ユース２１京都
（公財）京都 YWCA

〔教育機関関係〕
（公財）京都私学振興会
留学生スタディ京都ネットワーク
学校法人聖ヨゼフ学園

〔国際関係〕
（特非）関西ＮＧＯ協議会
（公財）京都府国際センター

〔保育園関係〕
（公社）京都市保育園連盟
日本キリスト教保育所同盟
京都市保育士会
中京保育研究会

〔スポーツ・文化関係〕
（公財）日本水泳連盟
（一社）日本スイミングクラブ協会
（一社）京都府バスケットボール協会
（一社）京都水泳協会

〔福祉・ボランティア関係〕
（福）修光学園
（福）同胞会
（特非）スペシャルオリンピックス日本･京都
（福）京都いのちの電話
全国車いす駅伝競走大会実行委員会
AIDs 文化フォーラム in 京都運営委員会
京都府外国人介護人材支援戦略会議
きょうと介護・福祉ジョブネット
日本介護福祉士養成施設協会京都府連絡会

〔ワイズメンズクラブ〕
京都ワイズメンズクラブ
京都パレスワイズメンズクラブ
京都ウエストワイズメンズクラブ
京都めいぷるワイズメンズクラブ
京都キャピタルワイズメンズクラブ
京都プリンスワイズメンズクラブ
京都ウイングワイズメンズクラブ
京都洛中ワイズメンズクラブ
京都エイブルワイズメンズクラブ
京都グローバルワイズメンズクラブ
京都トップスワイズメンズクラブ
京都トゥービーワイズメンズクラブ
京都ウェルワイズメンズクラブ
京都ＺＥＲＯワイズメンズクラブ
北京都フロンティアワイズメンズクラブ
京都ブラックワイズメンズクラブ
ワイズメンズクラブ国際協会西日本区京都部

対外奉仕

役員・会員（YMCA 関係団体のみ）

石若　義雄	（公財）日本ＹＭＣＡ同盟代議員
金城　勝平	（公財）日本ＹＭＣＡ同盟代議員
人見　晃弘	京都府災害ボランティアセンター運営委員

職　　員

加藤　俊明	ユース２１京都理事
	京都府社会福祉協議会福祉人材センター運営委員
	（福）修光学園理事
	（福）同胞会理事
	（一社）京都府専修学校各種学校協会理事・副会長
	（公財）京都府私学振興会評議員
	全国専修学校各種学校連合会代議員
	（特非）スペシャルオリンピックス日本・京都監事
	京都ＪＯＣＳ理事長
	ＮＣＣ宗教研究所理事
	（公財）日本ＹＭＣＡ同盟代議員
阿部　和博	京都府北部福祉人材確保・定着戦略会議委員
	留学生スタディ京都ネットワーク運営委員
	きょうと介護・福祉ジョブネット
	協働戦略検討チームメンバー
	（公社）日本介護福祉士養成施設協会総務・政策委員会委員
	日本介護福祉士養成施設協会京都府連絡会幹事
	学校法人聖ヨゼフ学園日星高校コンソーシアム委員
藤尾　　実	京都青少年ゆめネットワーク委員
	京都府キャンプ協会監事
	京都地区 YMCA 青年・学生活動促進委員会委員
	車いすネット副責任
	ユース２１京都常任理事
	京都キリスト教協議会常任委員
	（公財）京都ＹＷＣＡ評議員
中村　彰利	京都はぐくみネットワーク実行委員
	京都青少年ゆめネットワーク監事
	（公財）京都ＳＫＹセンター運営協議会委員
	京都市教育委員会花背山の家企画委員
	京都府キャンプ協会専務理事兼事務局長
藤原　貴子	舞鶴のさかな提供店登録認定委員
	舞鶴市廃棄物減量等推進審議会委員
	きょうと介護・福祉ジョブネット
	北部フィールドワーク型実習推進チームメンバー
山下維久子	京都市保育園園長会造形委員
	西京区小規模保育園保育内容アドバイザー
	京都市子育て基幹ステーション委員
	京都市はぐくみ推進審議会委員

7，役員及び職員

役　　員
代表理事　理事長　石若　義雄　常務理事　加藤　俊明
理　　事　堀井　　忠　　船木　成一　髙田　敏尚　大本　正夫　桜井　　希
監　　事　吉井　千鶴　　松村　康弘

評議員　大賀　幸一　　奥村　正治　　中島　啓泰　　小嶋　　薫　　杉井　恭敏
　　山本　知恵　　宇佐美賢一　　人見　晃弘　　熊谷　沙蘭

職　員　総主事　加藤　俊明
　　総合職　　4名（内出向受入れ1名　内京都ＹＭＣＡ学園への出向2名）
　　一般職　　6名（内京都ＹＭＣＡ学園への出向3名）
　　指導職　　4名
　　保育指導職　16名
　　嘱託職員　　9名
　　嘱託講師　　4名
　　非常勤職員　13名

８，2025 年度統計資料

表１　事業別登録者数　　2025 年 4 月～2026 年 3 月

2026 年 3 月 31 日現在（実数）

事業＼性別		男	女	計
保育園	乳児（０歳～２歳）	２２	２２	４４
	幼児（３歳～５歳）	２７	２３	５０
保育園　小計		４９	４５	９４
青少年	ユーススポーツ事業	４６６	４１０	８７６
	水泳	３４４	３０５	６４９
	サッカー	２４	３	２７
	バスケットボール	９	５	１４
	ダンス	０	１６	１６
	体操	７０	６５	１３５
	アフタースクール	１９	１６	３５
	野外活動	９４	５３	１４７
	おひさまにこにこクラブ	２７	１３	４０
	フィールドチャレンジャー	２２	１２	３４
	フィールドアドベンチャー	８	１０	１８
	ワイルドエキスパート	５	４	９
	野外人	３	８	１１
	こども鉄旅クラブ	１２	０	１２
	鉄旅クラブ	１０	０	１０
	ラビットクラブ	３	２	５
	のびのびくらぶ	４	４	８
	サポートプログラム	１２	４	１６
	小学生	６	１	７
	中・高生	６	３	９
青少年　小計		５７２	４６７	１０３９
成　人	成人ウエルネス事業	１７４	１５３	３２７
	成人年間講習事業（気功・ヨガ）	２０	１１６	１３６
合　　計 2541		７６６	７３６	１５０２

表２　年齢別活動参加者数・生徒数　　2025 年 4 月～2026 年 3 月

2026 月 3 月 31 日現在（実数）

年齢＼性別			男	女	合計
乳幼児		０歳児	4	5	9
		１歳児	7	6	１３
		２歳児	１１	１１	２２
		３歳児	9	8	１７
		４歳児	１０	7	１７
		５歳児	8	8	１６
少年	未就学児	５才以下	８２	７２	１５４
	小学生	6～12 才	４５５	３７３	８２８
	中学生	13～15 才	３３	２１	５４
	高校生	16～18 才	１０	7	１７
青年		19～29 才	１１	１２	２３
成人		30～39 才	２０	１０	３０
		40～49 才	３２	１９	５１
		50～64 才	４８	４１	８９
		65 才以上	７５	１８１	２５６
合計			７６６	７３６	１５０２

プログラムの重複を除く

表３　キャンプ・講習会　登録者数　　2025年４月～2026年３月

2026月３月31日現在（実数）

種別	プログラム ＼ 性別		男	女	計
夏期プログラム	キャンプ	リトセンキャンプ	６５	５６	１２１
		ファミリーキャンプ	９	１４	２３
		デイキャンプ	２０	６	２６
		病気の子どもとそのきょうだいのキャンプ	１２	４	１６
		夏休み小豆島キャンプ	６	５	１１
		その他のキャンプ	４８	５７	１０５
		夏期キャンプ合計	１６０	１４２	３０２
	講習会	集中スイミング	１４２	１４５	２８７
		水遊びコース	２７	２３	５０
		体操が好きになる教室	４３	４６	８９
		わくわく体操教室	１６７	１３	２９
		アフタースクール	１２	６	１８
		夏期講習会合計	２４０	２３３	２４３
	夏期プログラム計		４００	３７５	７７５
冬期・春期プログラム	冬期 12月～2月	冬スキー	９０	９５	１８５
		病気の子どもとそのきょうだいの冬キャンプ	１１	１	１２
		ウインターキャンプ合計	１０１	９６	１９７
	春期	春スキー	２９	４０	６９
		春休み小豆島キャンプ 実施せず	－	－	－
		ネイチャーキャンプ　実施せず	－	－	－
		スプリングキャンプ合計	２９	４０	６９
	講習会	スイミング冬期講習会	２４	２１	４５
		スイミング体験会（春）開催せず	－	－	－
		水遊びコース（春）	２２	１６	３８
		集中スイミング（春）	４８	６７	１１５
		体操が好きになる教室(冬・春合計)	６３	２９	９２
		わくわく体操教室(冬・春合計)	１６	８	２４
		アフタースクール（冬・春合計）	６	２	８
		冬期・春期講習会合計	１７９	１４３	３２２
	冬期・春期プログラム合計		３０９	２７９	５８８
総　合　計			７０９	６５４	１３６３

リトリートセンター年間利用者数　宿泊者数 1,445人　　日帰り利用者数　2,024人

種　別	性別 / プログラム	男	女	計
成人通年	YMCA独自高齢者筋トレ教室（延数）	243	1177	1420

表4　活動ボランティア人数　　2025年4月～2026年3月

ボランティア指導者数

（人）

事業	プログラム	学生	社会人	合計
野外活動	日常野外活動	28	0	40
	冬季・春季プログラム	12	0	
サポートプログラム	小学生	5	1	6
	中・高生		0	
野外活動小計		45	1	46

地域活動ボランティア数

（人）

プログラム種別	ボランティアグループ	人数
登録ボランティア グループボランティア	障がい児プログラム研究会マイ・マイ	7
	京都福祉情報ネットワーク	5
	テープライブラリーYMCAこおろぎ	11
	テープライブラリー長岡こおろぎ	14
	福知山YMCAブッククラブ	4
	障がいのある子供たちの創作広場　パレット	9
合　　計		50

個別プログラム協力ボランティア

（人）

プログラム	人数
リトリートセンター夏期準備ワークボランティア	１２５
リトリートセンター秋期準備ワークボランティア	１１０
国際協力街頭募金参加ボランティア	１５６
教会合同小学生キャンプボランティア	１３
チャリティーバザーボランティア	１５０
全国車いす駅伝運営協力ボランティア ※1	５６

※1　京都 YMCA から派遣したボランティア数

表５　会員数　　2025 年 4 月～2026 年 3 月

会員数

2026 年 3 月 31 日現在(人)

会員種別	分　　類	人　数
普通会員	基　本　会　員	１５９
	維　持　会　員	５９３
	計	７５２
賛助会員	法　人　会　員	１９
	個　人　会　員	3
	計	２２

普通会員年間増減数

2026 年 3 月 31 日現在(人)

会員種別	入会者数	退会者数	増減
基本会員	２４	４８	△２４
維持会員	４１	５５	△１４
計	６５	１０３	△３８

付属明細書

2024 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第３４条第３項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在 しないので、これを作成しない。